

HQR010-P24

会場:コンベンションホール

時間: 5月26日17:15-18:45

野尻湖音波探査記録の反射面とテフラとの対応

Correlation among tephra in drilling sample and reflectors in acoustic record in Lake Nojiri, central Japan

井内 美郎^{1*}, 近藤 洋一², 井上 卓彦³, 公文 富士夫⁴

Yoshio Inouchi^{1*}, Yoichi Kondo², Takahiko INOUE³, Fujio Kumon⁴

¹早稲田大学人間科学学術院, ²野尻湖ナウマンゾウ博物館, ³産業技術総合研究所, ⁴信州大学理学部

¹Waseda University, ²Lake Nojiri Museum, ³AIST, ⁴Shinshu University

演者らは野尻湖における音波探査記録の解析から湖水面変動史を復元する取り組みを続けている。これまでの議論は個々の反射面の年代がやや不確かなものであった。今回、長橋らによってボーリング試料のテフラの対比が確定したことから、より正確な年代の議論が可能になった。今回は野尻湖の琵琶島沖で採取されたボーリング試料中のテフラと音波探査記録の反射面との対応関係を明らかにし、湖全域で追跡可能な反射面の年代地を議論する。湖水域の大部分ではアカスコが音響基盤となっているがほかの水域ではドライカレーが音響基盤となっている。

キーワード:堆積物,テフラ,湖,音波探査記録,野尻湖

Keywords: sediment, tephra, lake, acoustic record, Lake Nojiri